


広報 かんべ

発行日 平成23年12月1日第40号
 編集・発行 神戸地区市民センター
 (神戸公民館・神戸地区住民自治協議会)
 電話・FAX 38-1300
 E-mail kanb-a15@ict.ne.jp
 URL <http://www.ict.ne.jp/~kanb-a15/>
 検索⇒[神戸住民自治](#)

第7回伊賀市民スポーツフェスティバル グラウンドゴルフ男子優勝

11月13日(日)に第7回伊賀市民スポーツフェスティバルが市内各会場で開催され、神戸地区からは84名の選手が、卓球、バレーボール、ソフトボール、ゲートボール、グラウンドゴルフ、ターゲットバードゴルフ、カローリングの7競技に参加し、健闘されました。入賞した競技種目は、下記のとおりです。

- ◆グラウンド・ゴルフ男子Aブロック 優勝
- ◆カローリング神戸Aチーム 3位
- ◆卓球個人男子の部
50歳以上 平木寅吉(下神戸) 3位
- ◆ターゲット・バードゴルフ
個人女子の部 川崎富美子(上神戸) 3位



12月の行事予定

12月の「かんべいきいき市(青空市場)」は
 12月3日(土)と12月24日(土)です!!
 午前9時00分~10時00分 JA神戸ふれあい店前
 午前10時40分~11時30分 きじが台地区市民センター前

◆お知らせ：会員による手作りしめ縄、干し柿の格安販売◆

日時	行事名	場所
12月 1日(木)午後2:00~	神戸神社新嘗祭	神戸神社
12月 2日(金)午後1:00~	世代間交流会(神戸ふれあい学習)	神戸小学校
12月 8日(木)午後1:00~	神戸公民館自主事業「絵手紙教室」	神戸地区市民センター
12月10日(日)午前9:30~	神戸公民館自主事業「そば道場」	
12月15日(木)午後1:30~ 2:00~	人権啓発草の根運動推進会議幹事会 神戸地区住民自治協議会役員会	

12月4日(日)は神戸地区の環境美化事業日(清掃活動日)です!!

エコ標語最優秀賞作品一般の部
 (比土 中西真紀子)

「テレビ消し 一つの灯に 家族の和」

伊賀市長との神戸地区懇談会が開催されました!!

11月27日(日)午後7時30分から神戸地区市民センターにおいて「伊賀市長との神戸地区懇談会」が開催されました。当日は、伊賀市から内保市長、西岡幸彦企画総務部長、松本秀喜産業建設部長ら7名が出席し、神戸地区からは神戸地区住民自治協議会運営委員や各種団体長など35名の方々が参加しました。

まず、内保市長から5つの市政の現状と今後の取り組みについて報告の後、神戸地区からの提案した4つのテーマについて活発な意見交換が行われました。

市長の市政報告及び懇談テーマに対する回答の概要は、下記のとおりです。

◎市政報告～市政の現状と今後の取り組みについて 内保市長報告

(1) 市の財政運営

伊賀市総合計画に基づき市政を進めてきている。合併の恩典も後3年である。合併後の財政規模は、現在428億円(23年度当初予算)の予算規模であるが、360～370億円程度に抑えていく必要がある。

(2) 医療問題

上野総合市民病院の内科の医師不足については、重要課題として対応している。現在、三重大学からでなく、滋賀医科大学に依頼し、支援をいただいている。これまで28名程度の医師数が、13～14名程度まで減少したが、現在20名程度の医師を確保している。引き続き内科の常勤医師の確保に努めたい。また、救急輪番制は3病院(上野総合市民病院、名張市立病院、岡波総合病院)の輪番制を維持したい。

(3) 中心市街地活性化の推進

平成21年度に国の指定を受け、中心市街地の活性化に取り組んでいる。市駅前再開発ビルや駅前広場の整備を進めていきたい。

(4) 農林業施策

農林業施策は、国土保全等の国策が重要である。現在伊賀市は獣害が多発している。獣害対策を進めていきたい。

(5) 協働のしくみづくり

本年、住民自治協議会への一括交付金制度をスタートした。今後、見直しが必要であれば、住民自治協議会と協議していきたい。

◎神戸地区からの懇談テーマについて

(1) 神戸地区内の洪水被害の軽減を図るため

①一級河川木津川改修計画の早期策定と改修工事の早期着手

②一級河川木津川の竹林伐採と浚渫工事の早期実施と完了

③川上ダムの本体工事の早期着工 について

神戸地区内の洪水被害の軽減は、木津川改修と川上ダムの建設が第一である。伊賀市として、産業建設部公共事業対策室で国・県との連携を図り進めている。

①の木津川改修計画は、現在三重県において大内橋～国道165号までの11.4kmの河川整備計画が進められている。現在、松本井堰改修を重点にL=300m区間の整備が進められている(23年度詳細設計、一部護岸改修)。早期の河川整備計画の策定を三重県に強く要望していきたい。②については、本年度、比土地内高瀬橋上流のL=140mの竹林伐採と下神戸地内松本井堰上流L=300mの土砂浚渫が予定されている。また、古郡地内の北川の土砂浚渫についてL=320mが計画されている。③については、国土交通省近畿整備局に設置された川上ダム関係地方団体の検討の場で検証作業が進められているが、進んでない状況である。国に強く要望していきたい。

(2) 伊賀鉄道の存続と伊賀南部地域の交通結節点である伊賀神戸駅周辺の整備促進について

平成19年10月に近鉄から伊賀鉄道に移行したが、毎年4億円の赤字を運賃改定、人件費の削減等の合理化により3億円の赤字となっている。伊賀市としても、平成19年度から10年間運営費や車両購入等に支援をすることとしている。平成29年度以降については、関係機関で協議することとなるが、伊賀市としては中心市街地の活性化のためにも伊賀鉄道の存続は必要と認識している。

伊賀神戸駅周辺整備については、伊賀神戸駅周辺整備推進協議会で検討していただいているが、平成26年度県道上野名張線バイパスの完成に併せ、とりあえず道路の安全の確保を図るため、バイパスから伊賀神戸駅までの間の道路拡幅整備を進めていきたい。

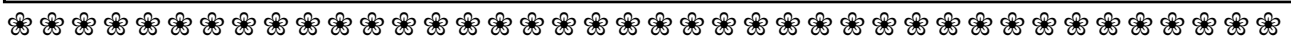
(3) 神戸地区農業集落排水事業の早期完成と負担金について

農業集落排水事業の今後の予定は、接続可能時期が平成24年10月1日から、供用開始は平成25年1月となり、使用料が発生することとなる。また、コンポスト化事業については、平成25年3月に事業完了の予定である。

コンポスト化事業の建設に対する負担金については、45万円以内との市の条例があるため分担金としては考えていない。皆様方のご理解を得たならば別であるが、今もってお願いはしない。

(4) 市庁舎建設事業について

市庁舎建設の場所については、中心市街地の活性化やこれまで整備されてきた社会資本の有効活用等の検討及び市議会、有識者等の検討委員会での答申を踏まえ、現場での建設を基本に設計を進めている。



神戸地区総合防災訓練が実施されました!!

11月26日(土)に各地区自主防災会の連合体である「神戸地区自主防災組織連合会」による「総合防災訓練」が実施されました。今回の訓練は、平成21年10月の台風18号や本年の台風12号・15号の教訓を生かし神戸地区全住民を対象とした「避難誘導訓練」を主に実施しました。

「避難誘導訓練」の神戸地区全体参加者数は689人で、全住民数に対する名目避難率は33% (昨年度39%) でした。なお、当日不参加の事前把握数を除いた実質避難率は70% (昨年度68%) でした。各自主防災会の参加者数は、下記のとおりです。

地区名	朝日ヶ丘町	比土市場	比土里	比土上出	比土高瀬	古郡	上神戸上小場	上神戸森小場
全住民数	430人	126人	159人	50人	51人	144人	112人	104人
参加者数	112人	40人	39人	17人	13人	47人	35人	48人
名目避難率	26%	32%	25%	34%	26%	33%	31%	46%
実質避難率	49%	100%	100%	77%	100%	94%	80%	53%
地区名	上神戸出庄	上神戸我山	上神戸南団地	上林	下神戸川西	下神戸丸山	下神戸領主谷	栞川
全住民数	103人	86人	128人	206人	144人	67人	38人	143人
参加者数	42人	26人	79人	80人	27人	12人	7人	65人
名目避難率	41%	30%	62%	39%	19%	18%	18%	45%
実質避難率	111%	96%	70%	98%	73%	63%	44%	52%

神戸地区文化祭今年もにぎわいました！

本年も恒例の「神戸地区文化祭」が11月20日（日）に神戸小学校体育館・駐車場などで開催されました。当日は生憎の天候にも拘わらず、大勢の皆様が来場され、会場は大変なにぎわいとなりました。

今年の神戸地区文化祭は、昨年度に引き続き「エコ」をテーマに、各団体の皆様が特徴のある催し物を出展いただきました。中でも伊賀白鳳高校のソーラーカーの展示や中部電力株式会社の人力発電機、三重大学伊賀拠点のバイオ発電機による肉まんの振る舞いには、今年東日本大震災で電力不足が問われ、節電が求められる現在、テーマに相応しい催しとなりました。

また、駐車場では、神戸老人クラブ連合会の軽トラ市がほぼ午前中に完売、PTA売店や「たこ焼」・不用品販売などのフリーマーケットには大勢が集まり、特に東日本大震災チャリティ大鍋「あ・かんべ汁」や振る舞いもちコーナーでは、行列ができる人気で、会場に訪れた方々の舌を満足させていました。

体育館内では、各種団体や公民館教室・サークルによる展示、芸能発表、ライスコンテスト、ハッピーメガネによる光の実験の「サイエンスショー」や本年度初めて募集した「エコ標語」の表彰式とともに「エコ標語展」などが開催され、訪れた皆様は文化祭を満喫していました。

（報告者：教育文化部委員 寺本清則）

東日本大震災義援金	
ありがとうございました	
◎ライスコンテスト売払い代金	51,500 円
◎「あ・かんべ汁」・振る舞い餅チャリティ	7,711 円
合計	59,211 円

